

派遣事業部の留学生採用強化



当社派遣事業部では、将来の基幹事業を担う人材確保の一環として、留学生の採用と育成を積極的に推進しています。日本での就労を強く希望する留学生は、勤勉さ・向上心・語学力を兼ね備えており、将来的に当社の BCP 事業を支える総合職として大きな可能性を持っています。

採用後は、当社が長年培ってきた石油燃料の取り扱い技術や、災害時の燃料供給体制のノウハウを段階的に学べる研修プログラムを用意しています。ガソリンスタンドでの実務研修を通じ、危険物取扱、給油技術、保管管理、在庫管理など、BCP 事業に不可欠な専門知識を習得していきます。

この研修は日本人総合職と同様に 3 ～ 4 年をかけて専門性を高めるキャリアプランであり、単なるスタンド業務ではなく、将来的には本部で BCP 事業の管理者として活躍することを見据えた育成方針です。多様なバックグラウンドを持つ人材が組織に新たな視点をもたらし、事業のさらなる発展に貢献することを期待しています。また、研修期間中は先輩社員によるメンター制度を設け、業務上の疑問や生活面での不安にも丁寧にサポートする体制を整えています。

BCP 事業との連携と、燃料供給体制を支える人材育成



当社 BCP 事業は、石油燃料取り扱いのプロフェッショナルとして、災害時に使用する燃料の専属備蓄配送契約を中心に展開しています。また、当社ガソリンスタンドでは、通常運営に加え、タンクの一部をお客様の燃料備蓄として活用し、地域の燃料供給拠点としての役割も担っています。こうした社会的使命を果たすためには、燃料の特性理解、危険物管理、緊急時対応など、専門性の高い人材が不可欠です。そこで派遣事業部では、将来の BCP 事業を支える人材を計画的に育成する仕組みとして、留学生採用を強化しています。

専門家に聞く

災害関連死を出さない社会の実現に向け、日本ほど官民を挙げて取り組んできた国はありません。公的な仕組みに加え、民間事業者が社会貢献として、さらにはビジネスとして改善を重ね、技術やサービスを高度化させてきました。一方、世界では同様の犠牲が十分に認識されていません。今こそ、日本で培われた知見をもとに、人材や産業の育成を通じて、その低減に貢献していくことが求められています。それは同時に、日本発の新たな価値や市場の創出にもつながっていくはずです。（関西大学社会安全学部教授 奥村与志弘）



「総合防災・減災企業」として命をつなぐサービスを増進する



日本BCP株式会社

【東京本社】〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町 48 番地 ism 神田 2 階
TEL:03-5289-0223/FAX:03-5289-0235
【大阪本部】〒599-8235 大阪府堺市中央区深井東町 3099 番地
TEL:072-230-5888/FAX:072-230-5887

お問合せはこちら

